

ダイブステーション35

基本情報

所在地	三重県 志摩市 阿児町国府1164-136		
代表者名	清水 憲夫	電話番号	0599-43-3116
ホームページ	https://divsango.jimdofree.com/		
形態	個人事業主	業種	サービス業(他に分類されないもの)

企業・団体等の概要

ダイビングスクール、体験ダイビング、ライセンス保持者をガイドする、漁村散策エコツアー
シチズンサイエンスとしての藻場再生事業プランニング及びアドバイザーとしての活動、講演など

SDGsの達成に向けた取組①

光触媒を用いた方法で藻場再生に取り組み、豊かな海を取り戻すためのきっかけを作ります

上記取組によりめざす姿

藻場再生で実際に海藻が復活することで、更に効果的な方法を模索する

めざすゴール

11:住み続けられるまちづくりを;14:海の豊かさを守ろう;17:パートナーシップで目標を達成しよう;12:つくる責任つかう責任;8:働きがいも経済成長も;3:すべての人に健康と福祉を

SDGsの達成に向けた取組②

漁村散策で漁民の生活の今と昔をテーマに、漁具の説明や現在の問題点などを紹介する活動

上記取組によりめざす姿

漁民の現状を知っていただき、関心を高めてもらう

めざすゴール

1: 貧困をなくそう; 12: つくる責任つかう責任; 17: パートナースhipで目標を達成しよう; 14: 海の豊かさを守ろう

SDGsの達成に向けた取組③

地元の海を紹介するうえで、現在目の前にある問題点などを実際に見せ、現実を知ってもらう活動

上記取組によりめざす姿

水中の現状を知っていただき、「自分には何ができるか」と考えていただく

めざすゴール

1: 貧困をなくそう; 17: パートナースhipで目標を達成しよう; 14: 海の豊かさを守ろう; 12: つくる責任つかう責任; 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう

志摩市を活動場所とした地域課題の解決に資する取組実績

船越の太平洋側海域で、これまでに磯焼け状態にある漁場に、光触媒を用いた藻場再生に取り組んでいます。地元海女団体と協力し、定期的モニタリング調査を実施し、アワビが主食とするカジメの繁茂に成功した。今後食害問題にも取り組みこの活動を広げる。6月現在、御座から畔名までの漁協9団体の賛同を得、「光触媒を用いた藻場再生実験」がスタートしている。その他、光触媒の技術で船越漁港内のヘドロを浄化させる実験をここを見ている。ある程度成果が出てきたことから6月にアマモの種を有した苗を移植実験している。

令和5年7月1日 現在